

地方創生に関する講演会

# 経済的に自立した 「稼ぐ」まちづくり

CRA合同会社代表社員  
オガールベース株式会社代表取締役  
オガールプラザ株式会社代表取締役

オガール  
プロジェクトとは

岡崎 正信 氏



従来型の公共事業のあり方が問われている中、補助金に頼らない公民連携PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）という手法を用い、地域活性化を進める岩手県紫波町の「オガールプロジェクト」。

民間の考えと行政が一体となり、町全体に経済活動が波及する取り組み。

入場  
無料

2016年 **2月15日** (月)

時間 | 19:00~20:30  
(18:30開場)

場所 | 市役所7階大会議室

[問合せ] 日田市役所企画課 電話 0973-22-8227

経済的に自立するまちを目指す岩手県紫波町

自立するとは何か。「稼ぐ」ためには何が必要か。

「右手に志を持ち、左手には算盤を持て」とは。

内閣官房地域活性化伝道師

おかざき まさのぶ

## 岡崎 正信 氏

CRA合同会社代表社員  
オガールベース株式会社代表取締役  
オガールプラザ株式会社代表取締役  
一般社団法人公民連携事業機構理事  
岡崎建設株式会社専務取締役他



1972年生まれ。岩手県紫波町出身。

1995年に地域振興整備公団（現都市再生機構）に入団し、地域再生業務に従事。

建設省都市局都市政策課出向時に、中心市街地活性化法案の作成に関わる。

2002年に家業を継ぐべく退団するが、税金を再分配する官に依存した地方経済に違和感を持つ。

2006年、町を元気にしてこそ建設会社の存在意義があると、東洋大学大学院の公民連携専攻（PPPスクール）に入学し、経済的に自立するまちづくりを学ぶ。

その後、当時の町長に町有地を託され、経済的に自立し、町の歳入を増やす事業（後の「オガールプロジェクト」）を目指す。

現在は家業と共に、岩手県紫波町が進める「オガールプロジェクト」の推進役として、紫波町の公民連携事業を企画推進。また、同県盛岡市の中心市街地にある民間の遊休不動産を、まちづくりに活用する事業も展開。一般社団法人公民連携事業機構を立ち上げ、「オガールプロジェクト」をモデルに、公民合築施設を全国に水平展開できるよう各地で講演シンポジウムなどを開催している。